

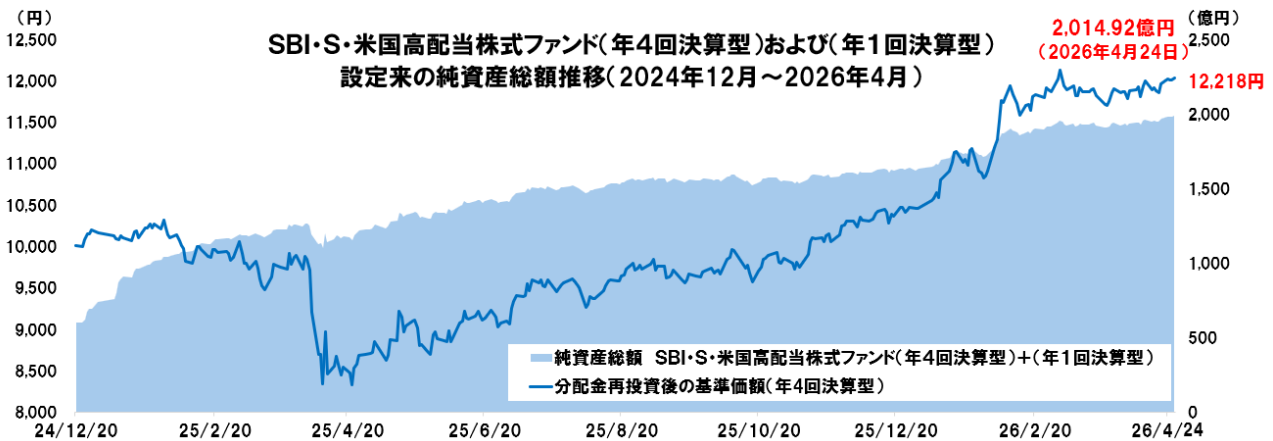
2026年4月24日

各位

会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社  
 (コード番号 4765)  
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)  
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也  
 開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

『SBI・S・米国高配当株式ファンド』年4回決算型および年1回決算型  
 純資産総額合計 2,000 億円突破のお知らせ  
 ～最低水準のコストで提供する米国高配当戦略～

当社子会社のSBIアセットマネジメント株式会社が設定・運用する『SBI・S・米国高配当株式ファンド(年4回決算型)』(以下「年4回決算型」)および『SBI・S・米国高配当株式ファンド(年1回決算型)』(以下「年1回決算型」)の純資産総額の合計が、2026年4月24日に2,000億円を突破し、2,014.92億円となりましたのでお知らせいたします。



年4回決算型は、2024年12月20日の設定来わずか20営業日で純資産総額1,000億円を突破するなど、ネット販売専用ファンドとしては極めて大規模な資金流入を記録してまいりました。その後も着実に残高を積み上げ、とりわけ2026年に入ってから市場環境の変化を追い風に資金流入が一段と加速し、両ファンド合計で2,000億円という新たな節目を迎えました。

足元の米国市場では、成長株重視の投資スタイルに変化の兆しがある中、安定的なキャッシュフローを重視する投資戦略にも一定の関心が寄せられているとみられます。金利やインフレ指標を巡る市場の関心が高まる中、配当収益を含むインカム部分に着目する投資姿勢が注目されるとの指摘もあり、こうした市場動向も、本ファンドへの資金流入の一因になっているものと考えております。

両ファンドは、米国上場の「シュワブ・米国配当株式ETF」(投資対象ETF)への投資を通して、米国の株式を実質的な投資対象とし、配当等収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざすファンドです。投資対象ETFは、ダウ・ジョーンズUSディビデンド100インデックスのパフォーマンスへの連動をめざす上場投資信託(ETF)であり、REITを除く米国株式の中から、連続10年以上配当を支払っている約100銘柄で構成されています。

また、両ファンドとも実質的な信託報酬は年率0.1227%(税込)程度と、同種同等のファンドの中で最低水準\*1を維持しており、低コストで質の高い米国高配当戦略にアクセスできる点も、多くの投資家の皆さまから高い支持をいただいている要因と考えております。

当社グループは今後も「顧客中心主義」のもと、良質かつ低コストの運用商品を提供することにより、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

\*1 投資対象、投資スタイルを同じくするファンドとして(想定コスト含む)、ウエルスアドバイザー株式会社調べ(2026年4月21日現在)